参考資料６

審議会での意見とその対応

＜令和４年度第３回（9/29）＞
○意見要旨は、対応・検討を求めるものや提案・提起いただいているものを抽出しています。
○当日のうちに回答を差し上げた意見については除いています。
○何度か事務局とやりとりをされている場合は１つの意見に集約しています。

（２）第６次犬山総合計画の基本計画（案）について
①施策及びそこに記載する現状、課題、取組みの方向性について

番号	委員名	意見要旨	対応（案）
1	奥村委員	（一社）持続可能な地域社会総合研究所が、「その都市の人口の毎年１％定住人口が増加すると、これで現状維持」と言っている。最低でも人口維持の計画を打たないのか。人口誘導政策が少し少ないのかな、という印象を持った。	人口目標については、令和３年度第６回審議会でお示ししました。人口減少を少しでも食い止めるため、土地利用の観点も加味しながら設定をしています。ご意見につきましては、ソフト事業のほうでお気持ちを汲取って、少しでも定住人口の確保ができるよう努めてまいります。
2	鈴木（温）委員	「■市街化調整区域における住宅の立地緩和」について、あくまで既存集落の維持のためという意図は理解したが、今の書きぶりを見るとスプロール化を促しているように見えるので、書き方を変えた方がよい。	ご指摘を踏まえ、「■調和型コミュニティ形成拠点等における住宅の立地緩和」に改めました。
3	丹羽委員	各施策においてSDGsのフラッグの数に差がある。施策がそれぞれどのようにリレーションしているかを確認して、もう一度付け直したほうがよい。	ご指摘を踏まえ、事務局で再考したうえで付け直しをしました。 （参考資料３　SDGsとの関係　参照）

②達成指標、目標値について

番号	委員名	意見要旨	対応（案）
4	奥村委員	「1-5　健康・福祉」の指標が、現行の23から1へと激減している。多くなりすぎてもいけないが、福祉の分野での達成指標がもう少しあってもよいのではないか。	ご指摘を踏まえ、要介護３～５の認定率の抑制を目指す指標を新たに設けました。 （資料４　達成指標及び目標値【目指す方向】（案）　参照）